



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 日本コンクリート工業株式会社
 コード番号 5269 URL <http://www.ncic.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 網谷 勝彦
 (氏名) 今井 昭一

TEL 03-3452-1025

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年3月期第3四半期 | 26,577 | △1.8 | 1,080 | △23.1 | 1,295 | △25.1 | 700 | △37.2 |
| 26年3月期第3四半期 | 27,055 | 0.5 | 1,406 | △1.0 | 1,730 | 7.1 | 1,115 | 11.3 |

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 1,222百万円 (△45.2%) 26年3月期第3四半期 2,233百万円 (107.0%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期第3四半期 | 12.20 | — |
| 26年3月期第3四半期 | 22.90 | 20.06 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 27年3月期第3四半期 | 59,656 | 31,585 | 52.2 |
| 26年3月期 | 57,544 | 30,755 | 52.7 |

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 31,132百万円 26年3月期 30,310百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年3月期 | — | 2.50 | — | 2.50 | 5.00 |
| 27年3月期 | — | 2.50 | — | — | — |
| 27年3月期(予想) | — | — | — | 2.50 | 5.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 35,500 | △0.5 | 1,500 | △19.2 | 1,700 | △23.2 | 1,050 | △1.7 | 18.29 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|--------------|----------|--------------|
| 27年3月期3Q | 57,777,432 株 | 26年3月期 | 57,777,432 株 |
| 27年3月期3Q | 367,500 株 | 26年3月期 | 365,914 株 |
| 27年3月期3Q | 57,410,433 株 | 26年3月期3Q | 48,713,678 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、4月の消費税率引き上げの影響を受け、消費に回復の遅れが見られるものの、企業収益や雇用環境の改善等を背景に緩やかな回復基調で推移しました。

このような環境のもと、当社グループは、最終年度となる2013年中期経営計画の目標達成に向け諸施策を推進するとともに、今後の需要環境を見据え、生産・営業体制の整備に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間の売上高は265億77百万円（前年同四半期比1.8%減）、営業利益は10億80百万円（前年同四半期比23.1%減）、経常利益は12億95百万円（前年同四半期比25.1%減）、四半期純利益は7億円（前年同四半期比37.2%減）となりました。

セグメントの概況は、次のとおりであります。

①基礎事業

パイルの全国需要が想定を下回る状況で推移しておりますが、西地区を中心に売上が増加したことなどにより、収支改善が進んだ結果、売上高は156億99百万円（前年同四半期比18.4%増）、セグメント利益は11億48百万円（前年同四半期比458.2%増）となりました。

②コンクリート二次製品事業

ポール製品において携帯基地局向けポールの出荷が一服したこと、および土木製品において工事着工遅延の影響を受けたことなどにより、前年同四半期比減収となりました。この結果、コンクリート二次製品事業の売上高は108億78百万円（前年同四半期比21.1%減）、セグメント利益は9億57百万円（前年同四半期比58.6%減）となりました。

（注）売上高、その他の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比（以下「前期末比」といいます。）21億11百万円増の596億56百万円となりました。

流動資産は前期末比2億11百万円増の235億79百万円、固定資産は前期末比19億円増の360億76百万円となりました。

流動資産増加の主な要因は現金及び預金の増加によるものであり、固定資産増加の主な要因は投資有価証券の増加によるものであります。

負債合計は、前期末比12億81百万円増の280億70百万円となりました。

流動負債は前期末比11億78百万円増の174億17百万円、固定負債は前期末比1億3百万円増の106億53百万円となりました。

流動負債増加の主な要因は電子記録債務の増加によるものであり、固定負債の増加の主な要因は、繰延税金負債の増加によるものであります。

純資産合計は、前期末比8億29百万円増の315億85百万円となりました。

主な要因は、その他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の52.7%から52.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、平成26年5月15日に公表いたしました通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（平成27年2月12日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67号本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法についても、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率を使用する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の投資その他の資産の「その他」に含まれる退職給付に係る資産が155,087千円減少し、利益剰余金が100,031千円減少しております。なお、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 5,725,188 | 6,736,073 |
| 受取手形及び売掛金 | 10,067,513 | 8,950,324 |
| 商品及び製品 | 3,568,718 | 3,257,081 |
| 仕掛品 | 1,548,302 | 1,078,537 |
| 原材料及び貯蔵品 | 845,808 | 861,309 |
| その他 | 1,626,022 | 2,724,663 |
| 貸倒引当金 | △13,271 | △28,599 |
| 流動資産合計 | 23,368,282 | 23,579,390 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 土地 | 14,943,557 | 14,956,708 |
| その他(純額) | 5,211,151 | 6,139,670 |
| 有形固定資産合計 | 20,154,708 | 21,096,378 |
| 無形固定資産 | | |
| | 97,894 | 74,088 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 10,482,864 | 11,612,778 |
| その他 | 3,466,752 | 3,321,368 |
| 貸倒引当金 | △26,197 | △27,997 |
| 投資その他の資産合計 | 13,923,418 | 14,906,149 |
| 固定資産合計 | 34,176,021 | 36,076,616 |
| 資産合計 | 57,544,304 | 59,656,006 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 5,997,277 | 5,482,438 |
| 電子記録債務 | 3,050,904 | 4,252,034 |
| 短期借入金 | 2,730,000 | 2,550,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,288,000 | 1,491,000 |
| 未払法人税等 | 435,984 | 179,314 |
| 引当金 | 484,883 | 337,594 |
| その他 | 2,252,272 | 3,125,376 |
| 流動負債合計 | 16,239,322 | 17,417,759 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 680,000 | 490,000 |
| 長期借入金 | 3,575,870 | 3,667,870 |
| 退職給付に係る負債 | 401,569 | 426,082 |
| その他 | 5,892,395 | 6,069,166 |
| 固定負債合計 | 10,549,835 | 10,653,120 |
| 負債合計 | 26,789,157 | 28,070,879 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,111,583 | 5,111,583 |
| 資本剰余金 | 3,486,325 | 3,486,325 |
| 利益剰余金 | 13,947,941 | 14,257,390 |
| 自己株式 | △93,689 | △94,539 |
| 株主資本合計 | 22,452,161 | 22,760,760 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,814,317 | 3,349,117 |
| 土地再評価差額金 | 4,960,885 | 4,960,885 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 82,811 | 61,495 |
| その他の包括利益累計額合計 | 7,858,014 | 8,371,498 |
| 少数株主持分 | 444,971 | 452,868 |
| 純資産合計 | 30,755,146 | 31,585,127 |
| 負債純資産合計 | 57,544,304 | 59,656,006 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 27,055,275 | 26,577,951 |
| 売上原価 | 22,685,251 | 22,410,415 |
| 売上総利益 | 4,370,023 | 4,167,536 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,964,007 | 3,086,791 |
| 営業利益 | 1,406,016 | 1,080,744 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 7,768 | 15,527 |
| 受取配当金 | 77,324 | 88,134 |
| 負ののれん償却額 | 3,285 | — |
| 持分法による投資利益 | 188,322 | 115,225 |
| 受取賃貸料 | 162,712 | 145,931 |
| その他 | 78,013 | 38,878 |
| 営業外収益合計 | 517,428 | 403,697 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 80,667 | 66,486 |
| 減価償却費 | 47,351 | 41,185 |
| その他 | 64,682 | 81,052 |
| 営業外費用合計 | 192,701 | 188,724 |
| 経常利益 | 1,730,742 | 1,295,717 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 99 | 2,747 |
| 投資有価証券売却益 | 10,565 | — |
| 特別利益合計 | 10,665 | 2,747 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 1,091 | — |
| 固定資産除却損 | 36,842 | 5,354 |
| 投資有価証券評価損 | — | 1,999 |
| 特別損失合計 | 37,933 | 7,354 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,703,473 | 1,291,110 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 457,475 | 468,043 |
| 法人税等調整額 | 121,294 | 113,740 |
| 法人税等合計 | 578,769 | 581,784 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 1,124,704 | 709,326 |
| 少数株主利益 | 9,301 | 9,022 |
| 四半期純利益 | 1,115,402 | 700,303 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 1,124,704 | 709,326 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,086,325 | 520,783 |
| 退職給付に係る調整額 | — | △21,430 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 22,016 | 14,130 |
| その他の包括利益合計 | 1,108,341 | 513,483 |
| 四半期包括利益 | 2,233,045 | 1,222,810 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 2,223,743 | 1,213,787 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 9,301 | 9,022 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注1) | 四半期連結損益 計算書計上額 (注2) |
|-----------------------|------------|------------------|------------|-------------|---------------------------|
| | 基礎事業 | コンクリート 二次製品事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 13,259,159 | 13,796,116 | 27,055,275 | — | 27,055,275 |
| セグメント間の内部売上 高又は振替高 | 5,549 | — | 5,549 | △5,549 | — |
| 計 | 13,264,708 | 13,796,116 | 27,060,824 | △5,549 | 27,055,275 |
| セグメント利益 | 205,744 | 2,313,436 | 2,519,181 | △1,113,165 | 1,406,016 |

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注1) | 四半期連結損益 計算書計上額 (注2) |
|-----------------------|------------|------------------|------------|-------------|---------------------------|
| | 基礎事業 | コンクリート 二次製品事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 15,699,375 | 10,878,576 | 26,577,951 | — | 26,577,951 |
| セグメント間の内部売上 高又は振替高 | 5,618 | — | 5,618 | △5,618 | — |
| 計 | 15,704,993 | 10,878,576 | 26,583,569 | △5,618 | 26,577,951 |
| セグメント利益 | 1,148,461 | 957,230 | 2,105,692 | △1,024,947 | 1,080,744 |

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に変更しております。

当該変更による当第3四半期連結累計期間の各報告セグメントの損益に与える影響は軽微であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。